

データガバナンスソリューション

(Data Governance)

Informatica Axon

IT技術の高度化に伴い企業やグループ全体で保有するデータ量は増加しています。また、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によってシステム間でのデータの共有化はますます進展していくことが予想されます。このような状況の中でデータガバナンスの重要性は高まっています。

B-EN-Gは、この分野で業界初のエンタープライズ対応製品である「Informatica Axon」を用いてデータガバナンスの実現をご支援いたします。

データガバナンスとは

データガバナンスとは、信頼できるデータを企業内の誰もが利活用できるよう、データを定義し、見つけられるようにし、コラボレーションできるようにすることです。

Informatica Axon 概要

Informatica® Axon™ Data Governance (以下、Axon)は、一貫性、信頼性、安全性のすべてを備えた高品質な統合データを提供するためのデータガバナンス基盤を実現する業界初のエンタープライズ向けの製品です。

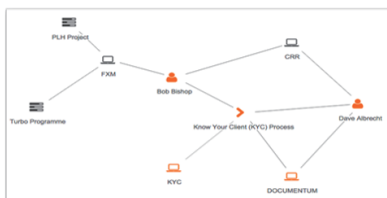
AxonはIT部門のユーザだけでなく、業務部門も巻き込んだ形で活用できるようなコラボレーティブな製品となっており、お客様のデータガバナンスプログラムへの取り組みをより効果的なものにします。

カタログ

Data Sets 13 of 17	System 10 of 11	Glossary 63 of 78	Data Quality 25 of 29
Process 5 of 12	Capability 0 of 30	Business 0 of 19	Project 86 of 98
Product 4 of 9	Policy 4 of 30	Change 4 of 4	Regulation 0 of 105
Role 501 of 501	People 8 of 8	Committee 0 of 19	Jurisdiction 4 of 4
Client 3 of 3	Org Unit 5 of 9	Legal Entity 0 of 5	Regulator 7 of 7

規制対応やデータガバナンスの取り組みに求められる様々な情報を一元的に管理

コネクション



データと、プロセスや人、組織、規制などの各種情報をつなげ、追跡可能に

コントロール



業務組織や取り組みをまたいで横断的に共有、データ品質を含むデータ資産の状況を可視化



データ資産の管理・把握

組織横断のコミュニティ

データ資産の活用

Informatica Axon 導入効果

システムやテーブル・業務プロセス等のオブジェクトのメタデータを一元管理し、関連付けすることで、データを理解するまでの時間を削減し、「ユーザーのデータ活用の促進」「システム改修・構築時の影響範囲の特定」「法規制要件への対応と周知」を効率的に進められるようにします。DXへの対応によるシステムの更改や各国でのデータ規制に対応しつつ、ユーザーのデータ活用促進を目指す企業にとって非常に高い効果を発揮します。

Axonで管理できるメタデータ

- | | | | |
|---------------|--------------|----------------|-----------------|
| ● テーブル定義 | ● データオーナー | ● 関連するオブジェクト | ● データの品質 |
| ● 管理しているシステム | ● 関連する組織 | ● 適用されているルール | ● データ取得の依頼先 |
| ● データの連携先／連携元 | ● 関連する業務プロセス | ● 適用されている法令／規制 | ● プライバシー管理の状態 等 |

Informatica Axon 機能概要

データガバナンスを実現するために以下のような機能を提供しています。

■ データマーケットプレイス

データの基本的な情報を公開・使用申請を一元管理し、データ利用までのリードタイムを短縮

■ 統合ビュー

データやプロセス・組織等のオブジェクトの情報と関連する情報やリネージを横断的に表示

■ ユニゾンサーチ

さまざまなタイプのオブジェクトを豊富な絞り込み機能で検索

■ コラボレーション

データの取得依頼やオブジェクトの変更をインタラクティブなチャット機能を備えたワークフローで管理

■ ダッシュボード

定期的に確認する項目をダッシュボード化することで利便性を向上

Informatica Axon 活用例

データ検索性向上と取得申請の一本化によりデータ利活用までの時間を削減

企業内外のあらゆるデータを集め、窓口を一本化し、ユーザーが利用しやすい環境を作る際、目的のデータを迅速に見つけられ、データの意味を理解でき、すぐに活用できることが求められます。Axonを中心としたインフォマティカ製品群を用いることで、ユーザーは一か所でデータ利用申請するだけで、大量のデータにアクセスでき、データやデータ間の関係性を素早く発見できます。一方、システム管理者は、データ取得申請管理・メタデータ管理・品質管理・プライバシー管理を1つのプラットフォームで行うことができます。こうした領域横断型の管理によって、各領域に閉じないデータガバナンスの実現を促進します。

〈メリット〉

- | | |
|----------------|--------------------|
| ● データの発見時間の短縮 | ● 関係者間のコミュニケーション促進 |
| ● システム間の関係性理解 | ● 関係者の把握 |
| ● リスクのあるデータの特定 | ● 品質情報の監視 |

